

ちよつとした罪を犯し
職も住処も失って
十数年…

路上生活を送る
こんな私にも
いつも気さくに
声をかけてくれる
恵美ちゃん…

私に孫がいれば
同じくらい
の
歳
だ
ら
う
か…

そんなわけで
中出しセックスだ

孫同然の歳の子を
ホームレス汁で
孕ませる…

これ以上の快感が
この世にある
だろうか…

あー
ため

ため

ため

ため

十方は
ため



路上生活を送る
私のような者の
相手をしてくれる
美也ちゃん…

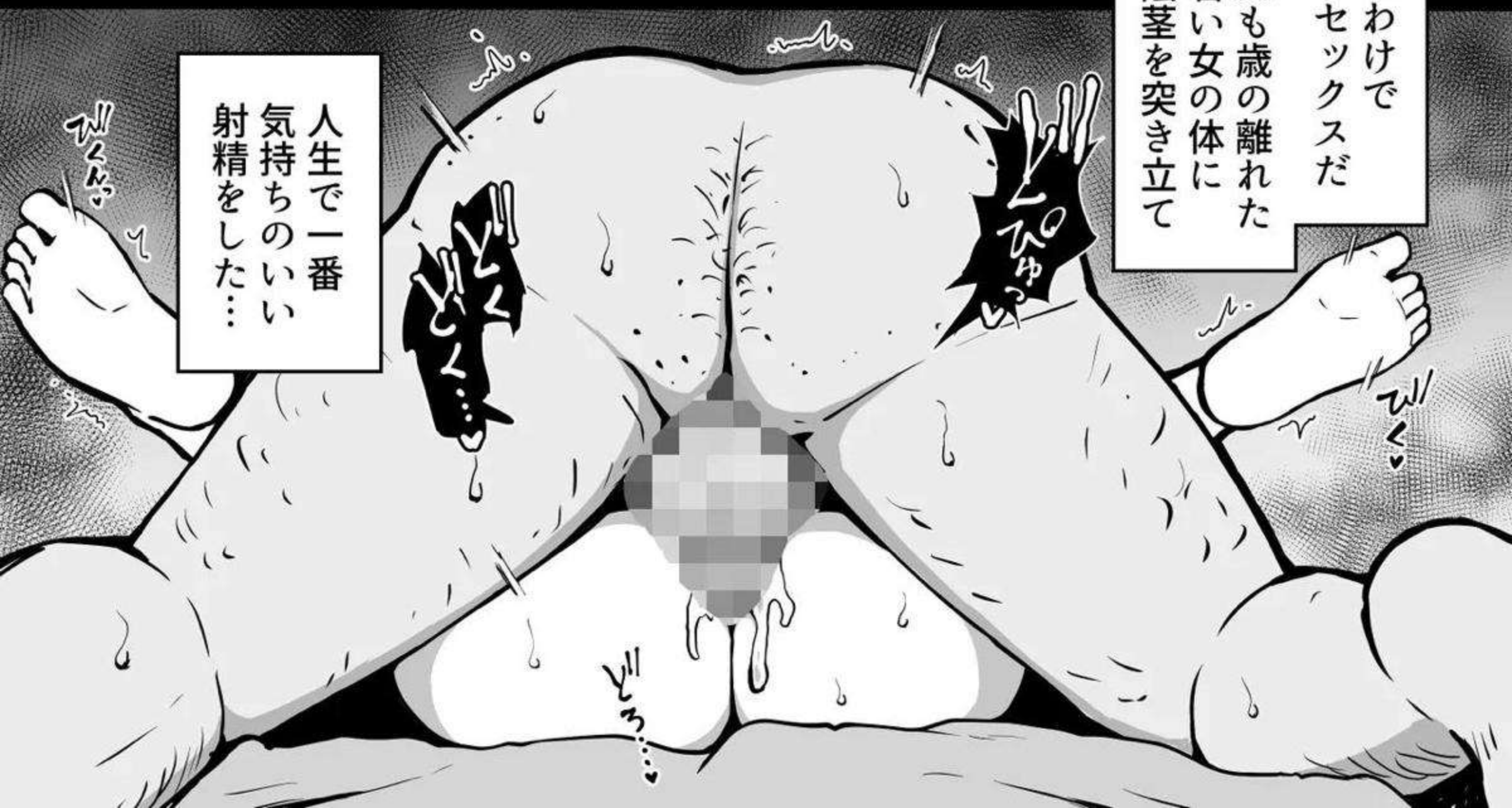
天涯孤独の私に
孫ができたような
気分だ…



そんなわけで
中出しセックスだ

50も歳の離れた
若い女の体に
陰茎を突き立て

人生で一番
気持ちのいい
射精をした…



道端で倒れた浮浪者の私に
手を差し伸べてくれたのは
この子だけだった

聞けばあの大企業の
社長令嬢だという…

育ちの良さも
頷けるといふものだ

であれば当然
中出しレ○プだ…

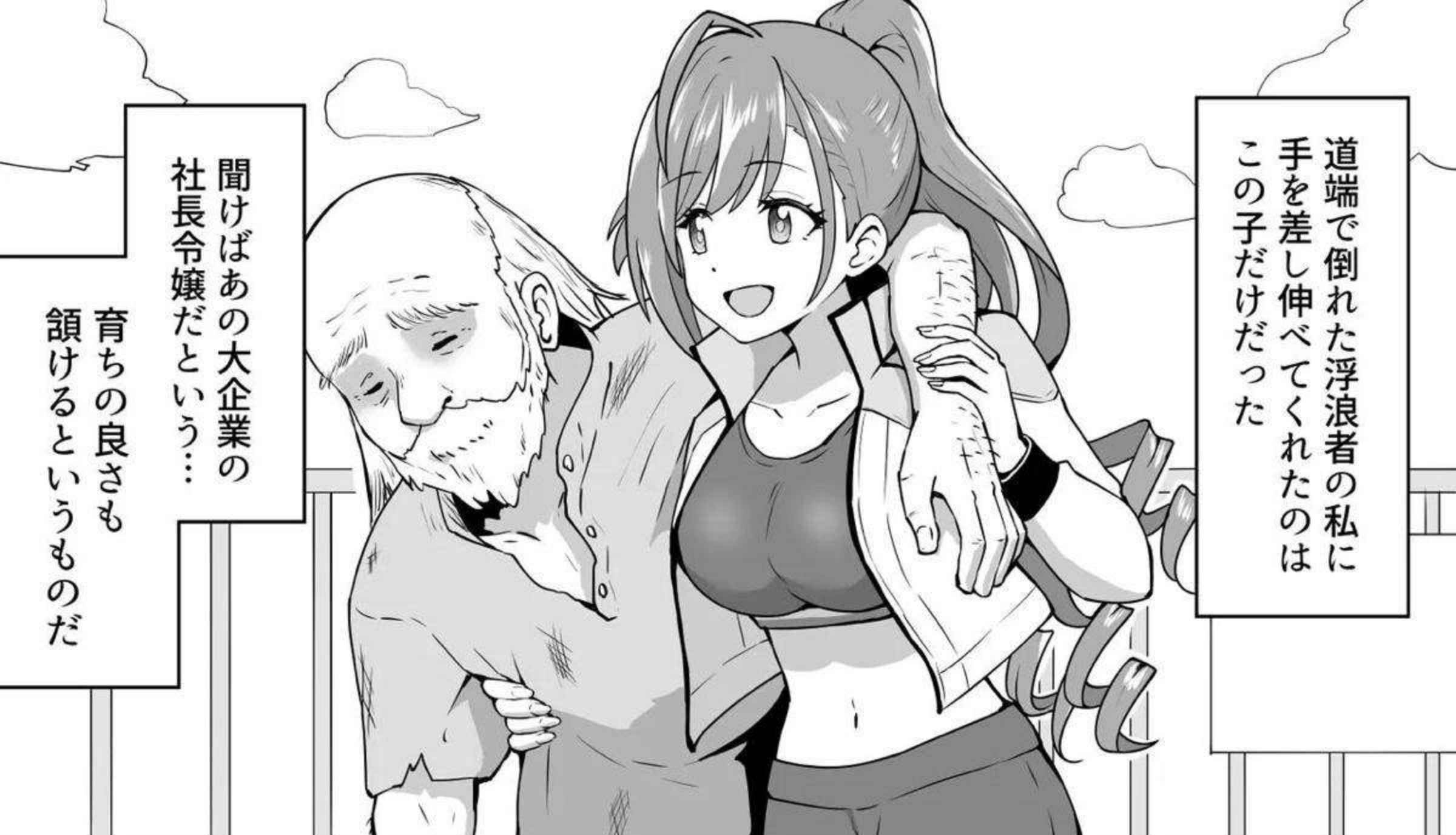
こんな格差が
許される
ハズがない…

世間知らずの
箱入り娘がっ…!!

社会の厳しさを
教えてやるっ…!!

かゆる…

んんん…



株取引で
数千万の負債を抱え
夜逃げしてから20年

こんな私の
話を聞いてくれる
天使が現れるとは…

となれば
さつそく
種付け交尾だ

このテントは
天使を犯すための
聖域…

いわゆる
“絶対白濁領域”
なのだ…

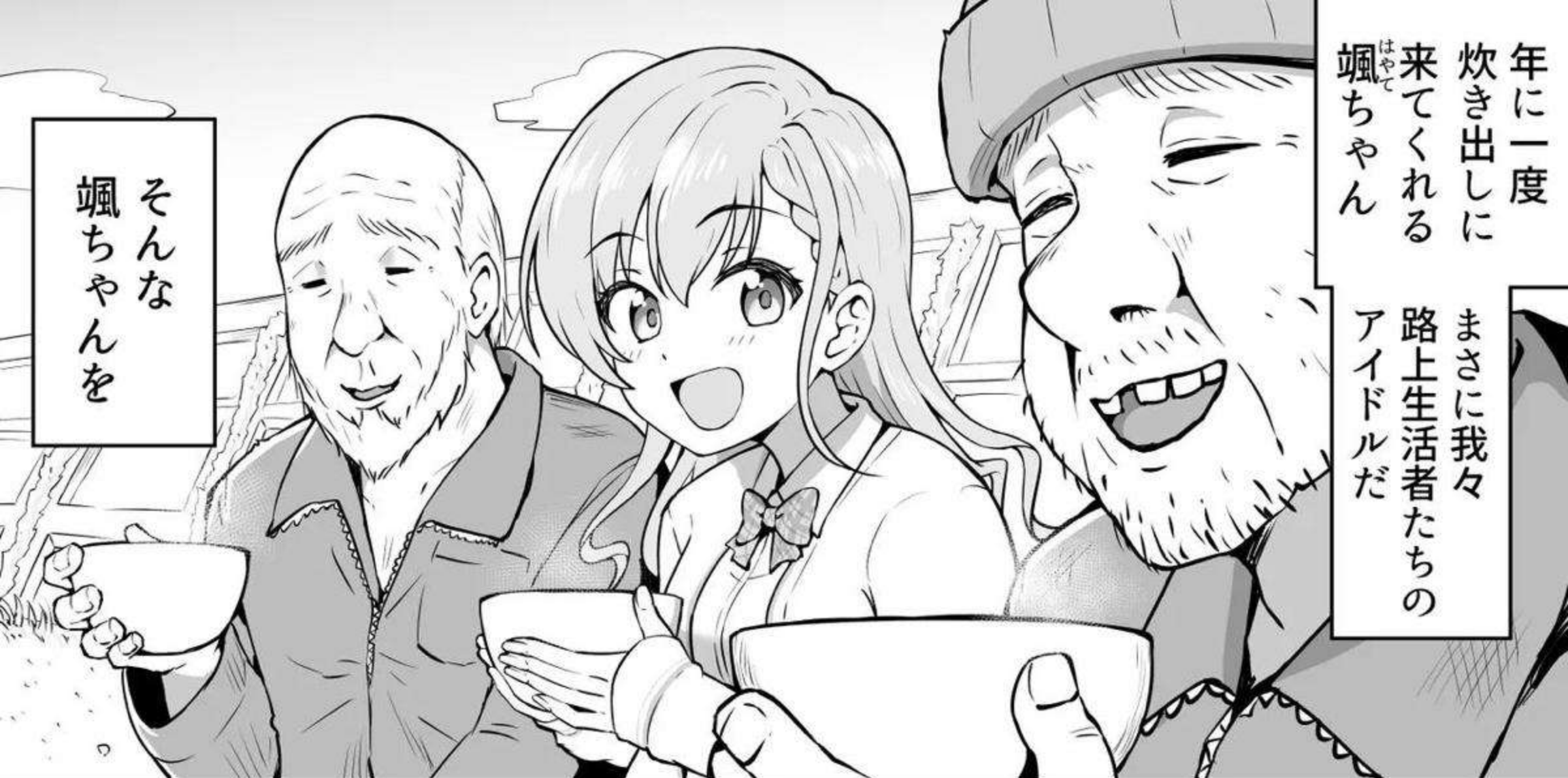
はっ
くろ

はっ
くろ

年に一度
炊き出しに
来てくれる
颯ちゃん

まさに我々
路上生活者たちの
アイドルだ

そんな
颯ちゃんを



今日は
なんと

手籠めに
しちゃいます

やった!
やった!



この年頃特有の
ハリのある乳房が

我々の情欲を
煽り立てる



狭い膣内を
汚れた陰茎で
掻き回すたび

颯ちゃんは
嬌声をあげ

あゝ
いぢぢ

甘い香りが
テントに充滿する…

あゝ

「孫がいれば
同じ年頃だろうか…」

そんな話をしながら
我々は

かわるがわる
膣内射精を
繰り返した

下

下

下

果たして
どちらの子を
孕んだらう…

次の
炊き出しの日が
楽しみだ

いぢぢ

いぢぢ

この子は
アイドル養成学校
とやらに通っている
らしい

私のような
浮浪者に
無警戒で接して
くる様は

まだ子供としか
思えないが…

私の陰茎は
意に反して
かっつてないほど
怒張し…

数十年
溜め込んだ精液を
一滴残らず膣内に
注ぎ込んだ…

